

令和元年度（2019年度）行政評価シート【個表】

令和元年7月5日

評価対象事業		評価者	道路課担当課長 齋藤 政徳	
都整-15	重点事業	道路維持補修事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課 道路課
			<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課
総合計画上の位置付け	分野	道路整備	施策の方針	道路・橋りょうの整備・維持管理

1 事業の目的

対象	市民等
意図	市民等の安全性、利便性を確保するため。
効果	安全で円滑な交通を確保するための施設保全を図る。

2 平成30年度(2018年度)に実施した事業の概要

<ul style="list-style-type: none"> ・道路の維持補修を行い、安全で円滑な交通を確保し、事故防止に努めた。市道053-000号線外、他5件の道路維持修繕工事を行った。また、前年度からの繰越明許費により、市道027-000号線外を行った。 ・新西鎌倉歩道橋の修繕工事を行った。また、大船駅西口ペデストリアンデッキの法定点検を行った。また、大船駅東口ペデストリアンデッキの修繕設計を行った。 ・東日本旅客鉄道株式会社にJR北鎌倉駅仮改札口の費用を負担するとともに小袋谷歩道橋の点検調査を委託し、完了した。 ・市が管理するトンネルの法定点検を実施した。 ・前年度から繰越明許費により、北鎌倉隧道安全対策検討業務を行った。
--

3 事業費等基礎データ

データ区分	29年度(2017年度)決算		30年度(2018年度)決算		01年度(2019年度)当初予算		備考
	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数	
人口等のデータ	176,466人	81,150世帯	176,308人	81,763世帯	176,436人	82,444世帯	・各年3月31日(住民基本台帳)
事業の対象者数							
事業の対象者数							
運営資源状況	決算値(千円)	220,533	476,580	当初予算(千円)	390,609		
	国県支出金		13,237	国県支出金	2,931		
	地方債	127,800	305,700	地方債	247,900		
	その他	23,158	21,925	その他	131,600		
	一般財源	69,575	135,718	一般財源	8,178		
	人員配置数	2.4	2.0	人員配置数	2.4		
事業経費運営	人件費(千円)	20,000	16,699	人件費(千円)	19,371		
	総事業費(千円)	240,533	493,279	総事業費(千円)	409,980		
	市民1人当りの経費(円)	1,363	2798	市民1人当りの経費(円)	2,324		
	対象者1人当りの経費(円)			対象者1人当りの経費(円)			

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	2. 増大している
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	3. 廃止・休止による影響は大きくある
	今後も市が実施すべき事業か	5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有 効 性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	△-3. 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	△-2. 市民等と協働して事業を実施することはできない
		協働実施済の場合のパートナー

事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す →	見直しの種類	<input type="checkbox"/> 拡大	見直しの内容	事業へ統合
	<input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする		<input type="checkbox"/> 縮小		
	<input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する		<input type="checkbox"/> その他		
	<input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する →				
予算規模の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	市内の道路は、経年劣化が著しいため舗装修繕を行う必要がある。また、車道のみならず歩道の舗装要望も多く寄せられていることから、予算規模を拡大して対応を図る必要がある。		
	<input type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする				
	<input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する				

総評(評価に対する考え方、根拠等)	<ul style="list-style-type: none"> ・市民から舗装や補修の要望を多数受けていることから、事業費の拡大を図る必要があるが、人員の配置や厳しい財政状況を考慮すると困難な状況である。 ・また、道路の維持補修については、道路占用者会議などを通じ、占用事業者と調整を図り、同一箇所を繰り返し掘削が生じないよう対応を行っている。
-------------------	---

平成30年度(2018年度)事業実施にあつての課題(前年度未解決の事項を含む)	市民から補修要望が多く寄せられていることから早急な対応が必要となっているが、限られた予算と職員で対応しなければならず、対応できていない案件が多数ある。	
課題解決のために行った平成30年度(2019年度)の取組	道路占有者会議において占有事業者と調整を図り、同一箇所ですり返し掘削が生じないように対応を講じている。	<input type="checkbox"/> 解決 <input type="checkbox"/> 一部解決 <input checked="" type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	市民からの修繕の要望は多く、場合によっては抜本的な改修が必要とされることもあるが、限られた予算と職員での対応となるため、工事には数年を要することになる。	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項								
団体名								
他市実績								

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方								
----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	単位	指標の傾向	備考					
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)	
	目標値							
	実績値							
	達成率							

当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方								
-----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--